

平成30年度予算見積調書

課室名：医療整備課
 担当名：地域医療対策担当
 内線：3643

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B33	救命医療体制施設・設備整備事業費		一般会計	衛生費	医薬費	医務費	救急医療対策費		
事業期間	平成24年度～平成35年度	根拠法令	医療提供体制推進事業費補助金交付要綱			宣言項目	02 健康・医療・介護の安心確保		
					分野施策	020307 地域医療体制の充実			
1 事業の概要 救命救急センター及び総合周産期母子医療センターの機能を強化するため、医療機器等の整備に係る経費を助成する。 (1) 救命救急医療機能強化事業 68,557千円 (2) 周産期医療機能強化事業 21,455千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 救命救急医療機能強化事業 90,012千円 (イ) 救命救急医療機能強化事業 68,557千円 救命救急センターとして必要な、医療機器及び重症熱傷患者用備品等の整備に係る経費を助成する。 (イ) 周産期医療機能強化事業 21,455千円 総合周産期母子医療センターとして必要な、医療機器等の備品整備に係る経費を助成する。 (2) 事業計画 ア 救命救急医療機能強化事業 (イ) 救命救急医療機能強化事業 対象数 6医療機関 (イ) 周産期医療機能強化事業 対象数 3医療機関 (3) 事業効果 ア 平成25年度 (イ) 救命救急医療機能強化事業 (2医療機関：超音波画像診断装置、血管内治療システム) (イ) 救急医療後方支援体制強化事業 (1医療機関：消化器内視鏡設備) イ 平成26年度 (イ) 救命救急医療機能強化事業 (2医療機関：ICUベッド等) ウ 平成27年度 (イ) 救命救急医療機能強化事業 (5医療機関：X線循環器診断システム等) (イ) 周産期医療機能強化事業 (2医療機関：超音波画像診断装置等) エ 平成28年度 (イ) 救命救急医療機能強化事業 (4医療機関：血管造影X線診断装置等) (イ) 周産期医療機能強化事業 (2医療機関：分娩監視システム等) (4) その他 ア 救急医療後方支援体制強化事業は、平成25年度にて完了した。 イ 周産期医療機能強化事業を平成27年度から開始した。						
2 事業主体及び負担区分 (1) (国1/3・県1/3) 事業者1/3									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 衛生費(細目) 医療行政費 (細節) 特別医療対策費 (積算内容) 救急医療施設運営費等補助									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人=950千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
決定額	90,012	国庫支出金	45,006					45,006	△23,640
前年額	113,652		56,826					56,826	